

ひとが輝くまち



YUZA Town Public Relations

広報

ゆざ

平成30年 No.688

6



今月の話題

祭で魅せる	2P
「健康ゆざ21計画(第3次)」を策定しました	4P
新庁舎建設について	6P
ハンガリー帰国報告会	7P
ほか	

5/4・5 吹浦祭

鳥海山大物忌神社吹浦口ノ宮で4日に宵祭り、5日に本祭りが行われました。花笠舞などが奉納されたほか、みこし巡幸が行われました。

⑦⑩花笠舞／豊作を祈る舞で、祭の最後を飾る。宵祭りでは生花、本祭では造花を使う。奉納後の花笠は縁起物として奪い合いに。

⑧地域の中高生らの協力による本御輿。

⑨台花持ち／着飾った子どもたちが花を持ち、吹浦の町を歩きます。



5月の連休中は各地区で祭が催されました。3日の大御幣祭、4・5日の吹浦祭の様をお伝えします。

祭で魅せる



5/3 大御幣祭

鳥海山蕨岡修験修行の最終段階として行われた行事です。鳥海山大物忌神社蕨岡口ノ宮で開かれ、例祭のほか、奉遷祭、神宿祭、大御幣行列、蕨岡延年の舞奉納などが行われます。

①⑥大御幣引き／修験者に扮した若者がもみあい、大御幣を神社へ運ぶ。中門の下で「剣先」と呼ばれる若者が、御幣の向きを変えるため高さ約5mの御幣に登る場面も。

②③蕨岡延年の舞／県指定無形民俗文化財。写真は②「童哉礼」、③「俱舎」。

④⑤大御幣行列／神宿から大物忌神社まで、天狗を先頭に行列が行進します。



健康で心豊かな生活を

～「健康ゆざ21計画（第3次）」を策定しました～

目標 ①働き盛りでの死亡（壮年期死亡）の減少

②認知症や寝たきりにならずに生活できる期間（健康寿命）の延伸

③健康格差の縮小

遊佐町では、この計画を基に町民と一緒に健康づくりに取り組んでいきます。

健康長寿のまちをめざして

「健康ゆざ21計画」とは、国の健康日本21（第2次）に基づき、町民誰もが健康で長生きできる、健康長寿の町をめざした計画のことです。今回、平成30年度から6年間の計画を策定しました。

男性の平均寿命は県内最下位！

・平成27年市区町村別生命表」において、遊佐町男性の平均寿命は79.2歳と県内最下位、女性は86.8歳で19位といずれも県平均より下回っています。

・遊佐町は、高齢化に伴い、がん・脳血管疾患・心疾患の三大生活習慣病による死亡割合が全国・県と比べると大幅に高くなっています。

また、自殺死亡率は、近年減少傾向にあります。5年平均では全国・県・庄内管内に比べて高い状況にあります。

見えてきた町の健康状況

・40～60代男性の肥満者が増えています。特に40代の男性では42%を占め、食生活の偏りと運動不足が課題となっています。特に女性の運動不足が目立ちます。子育て世代の30～40代女性の約6割が運動不足を感じています。

・60歳で自分の歯が24本以上ある人が56%と前回調査時より増加しています。

・20～60代男性の喫煙率は10%減少。

一方で20代男性の喫煙率は45.8%と4年前より増加傾向にあります。

統計やアンケート等を通して見えてきた町の健康課題改善に向け、今後、生活習慣病の重症化予防や心の健康づくり等に重点を置いた対策を推進します。

健康長寿をめざして

適塩

薄味で主食・主菜・副菜の揃った食事を心がけましょう

1日の塩分摂取量の目標は男性8g未満、女性7g未満ですが、山形県県民健康・栄養調査では男性11.2g、女性9.6gとまだまだ塩分の取り過ぎがみられました。減塩することにより炭水化物の取り過ぎを防ぎ、肥満や糖尿病、高血圧等を予防することができます。薄味を心がけましょう。



運動

体を動かし、心と体リフレッシュ

ウォーキングやマシントレーニング、ヨガ、百歳体操など自分に合った運動を見つけ、続けましょう。時間がなくても日常生活でこまめにカラダを動かす意識が大切です。

笑顔

助け合い、支え合う
地域のつながり

人は孤独やさみしさに弱いものです。普段から気楽に笑顔であいさつを交わし、悩みや困りごとを相談できる関係づくりが大切です。困っている人がいたら優しく声をかける等「お互いさま」の気持ちで接しましょう。

地域でつながることで「ありがとう」「笑顔」「元気」が広がっていきます。

禁煙

たばこの有害性を理解し、「禁煙」と「受動喫煙」の防止に取り組みましょう！

各家庭内での分煙はもちろん、多数の方が利用する集落公民館での受動喫煙対策を推進しましょう。

「ゆざ健康マイレージ事業」を活用し、楽しく健康づくり!

健康づくり事業に参加して20ポイントをためると、

特典1 「1,000円の商品券」と「やまがた健康づくり応援カード」がもらえる!

特典2 素敵な景品が当たる抽選に応募できる (20ポイントで1口、30ポイントで2口応募できる)

○対象 象：遊佐町に住所がある20歳以上の方

○ポイント獲得期間：平成30年4月2日～平成31年3月29日

○対象事業：職場や町の特定健診、がん検診、献血、乳幼児健診、ソーデーマーチ、各種健康教室等
平成29年度は、589名が20ポイントたまり、抽選で46名に素敵な景品が当たりました!!

● 〇／健康福祉課健康支援係 ☎72-4111

平成29年度 姉妹都市ハンガリー・ソルノク市派遣事業 帰国報告会を開催しました

4月22日(日)、遊佐町国際交流ハンガリー・ソルノク市派遣事業帰国報告会が行われました。平成29年度の派遣事業には生徒団員10人、大人団員3人の計13人が参加しました。報告会には保護者や来賓も含め40人ほどが出席。ソルノクでの思い出を生き生きと語り、経験を今後の糧にしていくことを誓い合いました。



ハンガリー・ソルノクでの思い出を写真でご紹介します!



テレビの取材を受けました



芸術小学校での記念撮影



言葉の壁を超えて仲良しに



最後はみんなで花笠音頭♪



ホストファミリーの皆さんと



聖イシュトヴァーン大聖堂にて

交流事業の主な行程

- 1日目 羽田空港からブダペスト経由でソルノクへ
- 2日目 市役所・学校訪問・ホストファミリーとの対面式
- 3日目 ソルノクでホームステイ（幼稚園・小学校訪問）
- 4日目 ソルノクでホームステイ（料理作り・さよならパーティー）
- 5日目 ブダペストへ移動、市内観光
- 6日目 在ハンガリー日本大使館表敬訪問、ウィーンへ移動
- 7日目 ウィーン市内観光、フランクフルト経由で日本へ
- 8日目 日本到着、役場で到着式

出張!

Town Voice

まちかどホットライン

皆さんの声にお答えします!



広報ゆざでは、皆さんから寄せられた町へのご意見・提案・要望等についてお答えします。また、まちかどの話題や文芸作品についても受け付けていますので、ぜひお便りをお寄せください。

福祉タクシー券の活用について

…匿名希望

日頃よりタクシー券を利用させていただき、大変助かっています。先日体調を崩してひとりでの乗車が困難となり、せっかくのタクシー券が利用できなくなっていました。利用できないタクシー券を、例えば介護用品と交換できるなど、有効に利用できる仕組みを検討していただけないでしょうか。

☎/ご意見ありがとうございます。福祉タクシー利用券については、自動車等の免許証を持っていない高齢者の方や障がい者の方が、外出する機会が増えるようタクシーを利用する際、負担を少しでも軽くするために支給しています。そのため、他の目的に使用することはできないこととしています。どうぞご理解くださるようお願いいたします。

なお、オムツ等の介護用品については、別途給付できる制度がございますので、ご相談ください。

●☎/健康福祉課福祉介護保険係 ☎72-15884

中央公園遊具周辺の整備について

…匿名希望

子どもセンターの隣にある中央公園の遊具について、周辺の地面がえぐれてしまっています。また、子どもセンター内の室内滑り台の降り口も固いように感じますので、整備・点検をしていただけないでしょうか。

いでしょわか。

☎/日頃より公園行政にご協力いただきありがとうございます。都市公園、河川公園の遊具については、概ね月1回の頻度で点検しております。この度ご指摘いただいた箇所については、利用者の安全を考慮してマット設置工事を発注済みです。

また、子どもセンターの遊具についても年1回の専門業者による定期点検を実施し、安全管理について十分配慮しております。ご指摘いただいた箇所についても、定期点検の結果不具合はありませんでしたので、現時点での改良等は予定していません。

今後とも遊具の適切な点検により、安全性の確保に努めていきます。貴重なご意見ありがとうございます。

●☎/地域生活課管理係 ☎72-15883
3 健康福祉課子育て支援係 ☎72-15897

町立図書館への本の寄贈について

…鈴木孝之さん(十里塚)

町立図書館に読み終えた本の寄贈を申し出たところ、「文庫本等はこれから減らす計画なので、受け入れることはできない」とのことでした。このお話を伺ってから半年以上経過しますが、図書館の本は何ら減っていないように思えます。読みたい本の購入依頼には対応していたのに、寄贈は受け入れられないのでしょうか。寄贈できる本の数や基準に

ついて、教えていただきたいです。

☎/日頃より町立図書館をご利用いただきありがとうございます。現在、図書寄贈については、基本的に郷土資料を除いてご厚意の申し出を受け付けていない状況です。ただし、図書館事業として夏休み期間に古本市を開催しておりますので、その際に町内の方に提供していただければありがたいと思っております。

蔵書管理のため、除籍の基準に基づいて計画的に閉架書庫を中心に除籍を実施しています(平成29年度は約2800冊)。また、蔵書についても利用ニーズや全体の蔵書のバランスを考慮しているところです。

今後とも図書館の管理運営にご理解とご協力をよろしく願います。

●☎/町立図書館 ☎72-15300

皆さんの声をお待ちしております!

町では定期的に広報に折り込む形で、「遊佐町役場内 広報ゆざ行」のハガキをお届けしています。より良い町づくりのため、あなたの声をお寄せください。

※必ずしも広報に掲載する形でご回答できるとは限りません。個別対応等により対応させていただく場合もありますので、ご了承ください。

●☎/企画課企画係 ☎72-4523

活動内容

おいしいおかゆの会は、絵本や紙芝居などを使わない「素語り（ストーリー・テリング）」を行う団体です。児童の「耳からの読書」として小学校や図書館でのおはなし会、語りべの館冬まつりでは大人向け世界の昔話を語るなどの活動をしています。

この会は、子どもの読書に興味があった人たちが集まり、現在は9名で活動をしています。自分たちで研修会に取り組み、他のサークルとの交流会などを行ったりして、日々パワーアップを図っています。



大人のためのおはなし会
くたはら館の会、おはなし会
時には外部から先生をお招きして活動しています。

おいしいおかゆの会 からのメッセージ

生の声での語りには、人の

声のあたたかみやリズムがあります。また、読書と違って文字や絵を追わない分、想像力を働かせることができます。自分で本を読めるようになってお子さんも、大人の方もぜひおはなし会に来てみてください。



みんなでろうそくの灯を消しておはなし会を閉じます。

まほうのじゅうたん

おはなし会

第3土曜日 町立図書館

① 午前10時半

② 午前11時

● 大人のためのおはなし会

7月7日(土) 語りべの館

午後7時

語りに興味のある方は、ぜひおはなし会に参加してみてください。

「Let's 遊活!!」では町内で活動しているクラブ・団体を募集しますので、ぜひお問い合わせください!

● 問/企画課企画係 ☎ 72-4523

鳥海山・飛鳥ジオパーク リレーコラム

「日本海と大地がつくる水と命の循環」

【第42回】

「海岸の断崖に生きる」



秋田県立大学非常勤講師
鳥海山生物研究グループ
マンサク会

加藤 竜悦 氏

にかほ市の大須郷から三崎公園にかけての海岸には、高さ約40mの断崖が見られます。険しい断崖の岩棚は、ウミウやハヤブサ、アオサギがねぐらや営巣地に利用しています。また、波で作られた海食洞は、クロサギやキクガシラコウモリが利用しています。

ウミウは、日中は象潟海岸などで潜水して餌の小魚を捕らえます。夕方になると、象潟海岸から南へ約7kmの大須郷海岸へ飛行移動し、岩棚に止まり夜を過ごします。

ハヤブサは、断崖の岩棚に営巣し、ヒナを育てます。親鳥は、見張りに使う岩やクロマツの枝から飛び立ち、餌となるヒヨドリやムクドリ、ハトなどを捕らえると、特定の岩の上で、鳥の羽を嘴でむ



▲海から望む断崖



▼ハヤブサ

しつてから巣に運び、ヒナに与えます。食べきれなかった餌は、岩の隙間に少しの間蓄えられます。海岸には、溶岩末端部からの湧水が点在しますが、ハヤブサが、時々、湧水で水浴びをします。

鳥海山から流れ出た溶岩で形成された海岸の断崖では、生き物たちが岩棚や海食洞、湧水を巧みに利用し、命をつないでいます。

地域とともにある学校づくり

平成30年度 第1回コミュニティ・スクール推進会議

5月14日(月)、生涯学習センターで今年度1回目のコミュニティ・スクール推進会議が開催されました。

コミュニティ・スクール(地域運営学校)とは、学校と保護者や地域住民がともに子どもたちの成長を支え、見守っていく仕組みの学校のこと。県内では、平成29年4月1日時



第1回コミュニティ・スクール推進会議の様子

点で8市町村がコミュニティ・スクールを導入しています。町ではこれまでもPTA・地域との連携を大切にした学校教育を推進してきましたが、コミュニティ・スクールを導入して、この取り組みをさらに推進していくこととなります。

今回の会議では町内の小中学校、各地区のまちづくり協議会、PTAの皆さんが参加し、「なぜ今コミュニティ・スクールなのか」「コミュニティ・スクールの運営に欠かせない機能」「遊佐町のコミュニティ・スクールのねらい」などについて研修しました。また、平成29年度に学校運営協議会を実施している遊佐小学校の事例についての共有や各学校の取り組みについての情報交換など、町全体でのコミュニティ・スクール推進に向けた取り組みを行いました。「地域の宝」である未来を担う児童・生徒を育てるために、「地域・地域・保護者が一丸となり、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいきます。

叙勲受章おめでとうございます
…佐藤統嗣郎さん(下長橋)

4月1日(日)に高齢者叙勲が発表され、佐藤統嗣郎さん(下長橋)が旭日単光章を受章しました。佐藤さんは昭和42年7月から20年間、町議会議員としてご活躍されました。また、行政委員、審議会委員など多くの役職を歴任。さらには土地開発公社、観光開発公社、シルバー人材センターの理事を担い、まちづくりに多大な貢献をされました。



叙勲を受けた佐藤統嗣郎さん夫妻

地区の偉人を偲ぶ

…太田祭

4月25日(水)、上蕨岡大鳳館で太田祭が開催されました。太田俊賢氏は蕨岡村の村長を2度務め、W坂の建設や戦時中の米蔵の開放など、多くの功績を残されている方です。この日は多くの方が出席され、太田氏の遺徳を偲びました。また、祭りの後には、蕨岡小学校6年生による田植えの体験学習をまとめた「リトルキング米のできるまで」の発表も行われました。



蕨岡小学校6年生による「リトルキング米のできるまで」

フォト トピックス

Photo
Topics



想いを込めた^{たすき}襷をつなぐ



4月27日(金)から29日(日・祝)にかけて、第63回県縦断駅伝競走大会が開催されました。町からは高橋英勝コーチ(駅前一区)と菅原翼選手(野沢)、高橋虎太郎選手(駅前一区)の3名が出場。全力で襷をつなぎ、チームに貢献しました。

自然の姿を楽しむ



5月12日(土)から13日(日)にかけて、生涯学習センターで春の山野草展が開催されました。丹精込めて育てられた多くの作品が展示され、園芸植物とはまた違った、自然な姿の美しさを伝えました。

遊佐を救った遺徳を称える



5月15日(火)八日町の本願寺で遊佐町四大祭の一つ、諏訪部祭が行われました。参加者たちは、1804年(文化元年)大災害に襲われた遊佐郷を救った代官・諏訪部権三郎定令の遺徳を称えました。



大広間では杉沢民謡会によるオンステージも披露されました。

4月22日(日)、鳥海温泉保養センターあぼん西浜30周年祭が開催されました。この日は空くじなしのお楽しみ抽選会や、杉沢民謡会によるオンステージなど、楽しいイベントが盛りだくさん。朝6時のオープンから午前7時までの間に、なんと1000人を超える利用者が訪れる大盛況となりました。昭和63年4月にオープンし、昨年8月には利用者数500万人達成と多くの人から愛されてきたあぼん西浜。これからも皆さんの心と体を温める、親しみのある施設運営を続けて行きます。

鳥海温泉保養センターあぼん西浜30周年祭



『よねさんの紙芝居』は昔ながらの自転車スタイルです。

5月3日(木)祝、4日(金)祝、町立図書館でゴールデンウィーク特別おはなし会『いやしのクラナタリウム』が開催されました。『よねさんの紙芝居』では、紙芝居で紹介されたクラゲの不思議な生態に、子どもたちも興味津々。『よねさんの紙芝居』では、人気紙芝居師米田佐之助さんの紙芝居とクイズに、子どもたちは大喜びでした。特別おはなし会には2日間で約60名の方が訪れ、図書館でゴールデンウィークを楽しみました。

こどもの読書週間
ゴールデンウィーク特別おはなし会

おたより大募集!

日頃感じていることや心温まるエピソード、広報の感想など、あなたの声をお寄せください!ご投稿は投書ハガキでどうぞ。

●問/企画課企画係 ☎72-4523



協力事業所の皆さんへ立派に決意表明しました。

**長期インターンへ決意表明
平成30年度デュアル実践開講式**
4月18日(水)、遊佐高等学校でデュアル実践の開講式が行われました。デュアル実践とは、協力事

Town Voice

まちかど

ホットライン

読者の広場

お彼岸市ではお花を中心に、秋には収穫祭、冬は鍋合戦&酒合戦な



開始直後にお客さんがいっぱい来ますので、お目当てのものがある方はお早めに!

JR遊佐駅(ゆざつとプラザ)前で、新鮮野菜や魚、惣菜などを販売する「ゆざつと軽トラ市」が、今年も4月28日(土)のお祭り準備市からスタートしました。お盆市や

今年も「軽トラ市」 始まりました!

業所で半年間のインターンシップを行い、「働くこと」を通してさまざまなことを学ぶ取り組みです。今年度は2年次生20名が、町内の18事業所にインターン。社会の一員として活動し、半年後には大きく成長していることが期待されます。



米〜ちゃんと一緒に記念撮影!

4月22日(日)、道の駅鳥海ふらつとで21周年の感謝を込めて周年祭が行われました。この日は特設イベント会場で「元気な浜店」のイカ焼きや「ひまわりの会」の肉餅が販売され、700円以上お買い上げの方を対象とした大抽選会も開催。町のマスコットキャラクター「米〜ちゃん」も現れ撮影会が行われるなど、会場は大いに盛り上がりました。

道の駅鳥海ふらつと 感謝を込めて21周年祭

ど、その時期のものをテーマに毎月1回のペースで開催します。開催時はチラシ等でお知らせしますので、皆さんぜひお立ち寄りください!

まち協インフォメーション

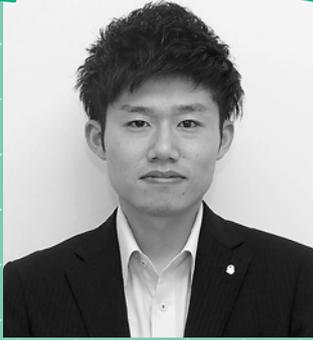
吹浦 復活の船みこし!

5月5日は吹浦祭!人手不足等により数年間お休みしていた、漁業関係者が担ぐ船みこしが、インドネシアからの留学生の力を借り、昨年祭へ復活しました。走るように担ぎ、途中神輿の上からニシンをばら撒く船みこしは海に近い吹浦ならではの。当初は昨年の祭を最後に見納め、という予定でしたが、地元の若い漁業関係者の「この神輿を続けたい」という思いを受け、今年の祭でも再びその姿を見ることができました。国際色豊かになった船みこし。継続の難しさや故郷への思いを乗せながら、吹浦祭へ出航しました。

●問/吹浦地区まちづくり協議会 ☎77-2503



威勢よく揺れる船みこし



半澤 敬宏さん(境田)

Takahiro Hanzawa
平成6年生まれ

一緒にハンドボールで汗を流しましょう!

■一言／

4月からきらやか銀行遊佐支店に勤めています。実家は山形市ですが、Jターンして現在は境田に住んでいます。お金を扱う仕事なので、ミスが許されないプレッシャーや責任感を感じています。大変なこともあります。先輩から指導していただきながら、わからないことは聞く、メモを取る等を心がけ、成長していけたらと思います。あと、山形と庄内はけっこう方言が違うので、方言も一緒に勉強中です。

高校生の頃からハンドボールに熱中していて、土日は山形のクラブチームで活動しています。スポーツが好きで、空いた時間で町体のジムで体を動かしています。遊佐でも機会があれば、皆さんと一緒にスポーツをしてみたいと思っています。

好きな女優は有村架純さんで、笑顔が素敵な女性が好きです。

■町への要望／

遊佐町は山も海もあり、すごく環境に恵まれていると思います。その土地でしかできない、ここならではのものを、もっとPRできれば良いと思います。



4年生のみんなも緑の少年団の仲間入り!

豊かな自然を未来へ
緑の少年団入団式

5月14日(月)、藤崎小学校で遊佐町緑の少年団入団式が行われました。緑の少年団は、地域の緑化活

動等を通じて、子どもたちが心豊かな人間に育っていくことを目的とした団体です。今年度は新たに4年生24名が入団。総勢70名となった仲間たちと、クロマツの枝打ちや植林活動に取り組んでいます。

遊佐高等学校2年次生が森林学習
カミネツコンでドングリを植樹

5月15日(火)、吉出地内にある共存の森で、遊佐高等学校2年次生による植樹活動が行われました。

共存の森とは、鳥海山の豊かな水源域を持った土地。この日は2年次生33名が、カミネツコンという紙で作ったポットを利用して、ドングリ(榎の木)を植樹しました。



カミネツコンは地面に置くだけ!

榎の木は成長が早いので、コストになるのが楽しみですね。この森林学習は、庄内総合支庁の地域ふれあい講座を利用して取り組まれました。

集落支援員だより

東京・神奈川から遊佐町体験!

5月4日(金・祝)～6日(日)まで、NPO法人いなか暮らし遊佐応援団が主催した「田舎暮らしゆざ体験ツアー2018春」が開催されました。今回は首都圏より2組4名をお迎えして山菜取りや筍掘り、吹浦祭の見学など、普段はなかなかできない遊佐町暮らしを体験していただきました。

また、町中心部(駅前一区)と海の近く(十里塚)の空き家を案内しました。町の自然はもちろん、空き家も大変気に入っていただいたので、今後もツアーを通して町の魅力を知ってもらい、町の移住支援をしていければと思っています。

集落支援員 渋谷一行、佐藤正子

☎72-3981 FAX28-8455 (集落支援員事務所：Aコープゆざ店2階)



町の空き家をご紹介します。